

(令和3年5月試験研究業務月報)

試験研究課題名：強樹勢台木の接ぎ木による賀茂ナス果実の高品質・高付加価値化技術の
確立

研 究

賀茂ナスの栽培法マニュアル化に向けた試験を開始

京野菜の一つである賀茂ナスの栽培では、近年、品質低下や出荷量の減少が問題となっています。

当センターでは、これらの問題を解決するため台木^{※1}品種の選定を進めてきました。今年度は5月上旬に4種類の台木を用いた賀茂ナスの接ぎ木苗を当センターの露地ほ場に定植しました。

今後、亀岡市の現地生産ほ場でも同様の台木品種を用いて栽培試験を行い、当センターの結果を基に、栽培に適した台木品種や栽培法を掲載した栽培マニュアルを作成します。

※1 台木：植物の地下部となる部分のこと。穂木（植物の地上部）を品種の異なる台木と接着させる（接ぎ木）ことで、接ぎ木を行わない場合よりも病気や低温、高温に強くなります。



賀茂ナス苗を定植している様子